



# 海外留学のすすめ



徳島大学

国際センターニュース No.26 特別号

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

## なぜ、いま、留学？

答えは簡単です。留学でしか得られない経験があるから。

海外旅行と違って、留学では留学先の文化の中で生活することになります。

「外国人」として異文化の中で生活するという経験は、本やインターネットから得る情報よりもはるかに大きな気づきをもたらしてくれます。多様な人々に出会い、多様な価値観に触れることは、自分の「当たり前」が他者にとって必ずしも「当たり前」でないこと、そして自分自身に大きな可能性があることを気づかせてくれます。

留学で得られる出会いや気づきは皆さんの世界を広げてくれます。

自分の見える世界が広がるということは、楽しいものです。もちろん留学は楽しいことばかりではありません。しかし世界に友達が増え、視野が広がることは、きっと皆さん的人生を今よりもっと豊かなものにしてくれます。

今じゃなくても、何歳になんて、覚悟さえあれば留学はできます。

ただ、留学に際して多くの選択肢とサポートが与えられ、かつ経済的援助が得られるのは大学在学中の今しかありません。

「百聞は一見に如かず」

大学という場を活用し、ぜひ一步外へ出てみてください。



### 留学体験談

交換留学（ビショップス大学／カナダ） 総合科学部人間文化学科国際文化コース 4年 椿山 椎奈

私は約8か月間、カナダのケベック州にあるビショップス大学で勉強していました。以前にオーストラリアでの短期留学の経験があったので不安はないと思っていましたが、やはり今回は半年以上日本を離れるということで、心細い気持ちになり、出発前から既にホームシックでした。初めはビショップス大学には知り合いが居らず、心細い気持ちはますます強くなっていくように感じました。しかし入学してすぐに行われるフロッシュウィーク（オリエンテーション）で新たな友人ができ、さらに授業も始まったので、いつの間にかホームシックもなくなり、カナダでの生活を楽しんでいました。授業は徳島大学と同じように90分授業でしたが、同じ授業を週に2回受け、3単位得るという仕組みです。中には3時間授業もありましたが、途中に設けられる休憩で息抜きしながら、22時前まである授業も受けっていました。



留学中、仲間たちと（本人中央）

ケベック州は英語とフランス語が主要言語で、大学外にでると、地域の人はほぼフランス語を話しており、買い物に行くと「Bonjour! Hi!」から会話が始まります。ここで思わず「Bonjour!」と返すとフランス語で会話が始まるという不思議な習慣があります。これはフランス語を履修していた私にとっては良いことで、ふと聞いたフランス語での会話が理解できたときの喜びは計り知れないものでした。

私にとって留学とは言語を学ぶ以上に得るものがあると思っています。これは日本だけでの生活では得られなかったものです。帰国した当初は「日本人ってなんでこんなに遠慮するのだろう。自分のしたいことは迷わずすればいいのに。」など考えることがたくさんありました。そして今でもふとした瞬間に「カナダに帰りたい」と思うときがあります。そんなときはビショップス大学の友人に連絡して元気をもらっています。不安は留学に関わらず、誰しもが抱えるものです。それを乗り越えた自分に出会えるのが留学だと私は思います。

思い立つたらさあ行動!  
まずは国際センター・国際課へ

↓ 情報スペースも充実 ↓



海外留学情報コーナー  
(国際センター)

### ★☆留学相談受付中★☆

国際課国際交流係  
☎ 088-656-8105  
✉ ryugakuk@tokushima-u.ac.jp  
[月～金／9:00-17:00]

国際センター 海外留学推進部門  
福岡 佑子  
☎ 088-656-9879  
✉ y.fukuoka@tokushima-u.ac.jp

常三島キャンパス  
地域創生・国際交流会館4F  
[月、水～金／9:00-17:00]  
蔵本キャンパス  
国際課蔵本分室(蔵本会館2F)  
[火／13:00-17:00]

Webサイトもご覧ください  
<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>  
facebookページでも  
情報発信中→



@TokushimaU.IC  
<https://www.facebook.com/TokushimaU.IC/>

### 徳島大学 国際センター 研究・社会連携部国際課

徳島県徳島市南常三島町1-1  
徳島大学地域創生・国際交流会館4階

### 短期留学(モナシュ大学／オーストラリア)

総合科学部人間文化学科1年 河野 智帆里

私は長期留学をすると心に決めて入学した。そのために早い段階で短期留学を経験したいと考え、夏休みを利用してモナシュ大学に行くことを決めた。私にとっては初めての海外である。オーストラリアではホームステイをし、大学にはバスで通学した。オーストラリアは方言が強く最初は聞き取り辛かったが、徐々に理解できるようになった。一緒にフットボールを観戦して大騒ぎした。子供たちに茶道を教えた。母娘喧嘩に才口才口したり、バースデイと一緒に祝つたり、異なる文化慣習に直に触れ、認め尊重するということを学ぶと共に楽しい一ヶ月を過ごすことができた。ファミリーとは今でもSNSを通して交流が続いている。



留学中、学校での様子(本人前列中央)

大学ではレベルで少人数のクラスに分けられ、私のクラスでは日本人(千葉大、大阪大等)の他に中国人、ベトナム人が共に学んだ。彼らの英語は聞き取り辛く、自分の英語も伝え辛かったが、ディスカッション、プレゼン等でコミュニケーションをとるうちに打ち解け、放課後カフェで女子トークに花が咲いたのはいい思い出となっている。日本の授業とは異なり、リスニング重視の内容で常に発言を求められた。日本人は消極的、Be brave! Don't be shy! と言われた。いい鍛錬である。ライティングについては細かい添削があり、週に一回先生とメールでやり取りした。先生からの返事が今でも心に残っている。“That as long as we chose to live our lives will be hard? Life is hard because otherwise there would be no way to grow strong…” 遠いメルボルンで心が軽くなった瞬間である。

私は再度挑戦するつもりだ。次は英語を学ぶためではない。英語の先にあるものを習得するために行くのである。時間とチャンスがあるならば、ぜひ留学に挑戦すべきだと思う。

Just anything that happens to occur to you is acceptable. The reason is, a tiny little idea can change your life!

## 大切なのは自分から動くこと

高校と大学の大きな違いは、学生に自発性が求められる点です。教師が「これを勉強しなさい」というのではなく、大学では自分が学びたいことを自分で探す必要があります。それは留学に関しても同じことです。なんとなく留学したいと思っているだけでは、誰も何もしてくれません。皆さんに少しでも留学したい気持ちがあるなら、まず行動に移してください。国際センターに足を運ぶ、ホームページをのぞいてみる、教員に連絡を取る、方法はたくさんあります。そうした皆さんの行動に応え、情報を提供し留学への道を一緒に模索していくのが私たち国際センターの務めです。

留学には、皆さんが思うより多くの選択肢があります。そして何より、海外で得られる経験は何事にも代えられません。国際センターは、ひとりでも多くの学生にかけがえのない経験をしてほしいと思っています。まずは一度、私たちに相談してみてください。

### どんな留学にする?

世界10か国以上から行き先を選べます。

- 短期留学 • 長期留学 • 語学留学 • 交流留学など
- 詳細は国際センター又は各学部まで

### お金はどうする?

徳島大学海外留学支援制度

アスパイヤ奨学金制度(返済不要)

\*一回あたりの最高支給額

[8日以上2ヶ月未満]

1回あたり、アジア地域 最高5万円、オセアニア地域 最高6万円、アジア・オセアニア地域以外 最高7万円

[2ヶ月以上12ヶ月未満]

1ヶ月あたり、アジア地域 最高4万円、オセアニア地域 最高5万円、アジア・オセアニア地域以外 最高6万円



官民協働海外留学支援制度

トビタテ! 留学JAPAN(返済不要)

自分で留学を計画!  
渡航費・滞在費支援

HP: <http://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>

↓ 申請条件／方法等は国際課まで ↓

ryugakuk@tokushima-u.ac.jp